

ほぷらチェンバロとリコーダー

冬の小さな音楽会



鳥の鳴き声の模倣によるソナタ
(W.ウィリアムズ)

トリオソナタ ト短調
(G.Ph.テレマン)

組曲 二短調
(J.M.オトテール) 他

12月16日(水)

14:00~

北海道大学総合博物館
1階「知の交流」コーナー

入場無料

秋山 滋 Rec
松浦孝成 Rec
秋山麻子 Cem

☆座席数は40席程度になります。それ以上は立ち見になりますのでご了承下さい。

北海道大学総合博物館

札幌市北区北10条西8丁目 Tel. 011-706-2658

ポプラこの古の大志、札幌の地に生まれ
2004年 嵐によって倒れ
2006年 ここに蘇る
(チェンバロに刻まれたラテン語の銘文)

明治36年(1903年)に植林されて以来、樹齢100年に至る今日までポプラ並木は、本学のシンボルとして学生や市民に親しまれてきました。ところが、平成16年の台風18号により半数近くが倒壊してしまいました。

再生を願う声が全国から寄せられ、北大はポプラ再生事業に着手し、世界にも例を見ない30トンにもおよぶ倒木2本の立て直しに成功しました。倒れたポプラ並木を木工品として蘇らせるというプロジェクトも進められ、ポプラは様々な工芸品に生まれ変わります。その代表作が、チェンバロです。

チェンバロ製作のご提案は、北海道教育大学の市川信一郎教授から、製作は、横田ハーブシコード工場の横田誠三さんにお願いました。昔のヨーロッパでは、ポプラでチェンバロなどの楽器がつくられることもあったそうですが、現在ではめずらしい試みといえるでしょう。

完成まで2年の歳月が費やされ、キャンパスカラーの緑色で縁取りされたチェンバロには、100年の歳月を生き抜いたポプラの深みが感じられます。

(北海道大学総合博物館ホームページより)

秋山 滋 (あきやましげる) さんのプロフィール

相愛大学音楽学部器楽学科古楽器専攻卒業。英国ギルドホール音楽院大学院古学専修課程修了。リコーダーを藤田隆、若林正史、フリップ・ピケットの各氏に師事。バロック音楽を軸としたソロ活動のほか、“ザ・ドメステックバンド”を組織しジャズ、インプロヴィゼーション、オリジナル作品の演奏も行う。演奏の傍らリコーダーコンクールの審査員やリコーダー指導で関西を中心に活動している。現在、大阪音楽大学、京都市立芸術大学音楽学部、相愛大学音楽学部、各講師。神戸音楽家協会会員。スーパーリコーダーカルテットのメンバーとしても活躍中!

松浦 孝成 (まつうらたかのり) さんのプロフィール

リコーダーを山岡重治に師事、笛全般を守安功師事する。第5回全日本リコーダーコンテスト独奏部門で金賞を受賞。国内外でジャンル、スタイルにとらわれない演奏活動を行う。演奏活動のほかにも、テレビ、ラジオの出演、各種レコーディング、各地のセミナーの講師など、多彩な方面で活動している。海外での活動も多く、主な公演としては、語り部と共にインドネシア、マレーシア、インドにおける国際交流基金派遣公演、東京リコーダーオーケストラで台湾、韓国公演、DuoBRESSAN(早崎靖典とのコンビ)で韓国・ドイツ公演を行う。特に2004年からは、毎年DuoBRESSANでドイツツアー(ベルリン、ハンブルク、ライプツィヒ、ドレスデンなど)を行っていて、各紙からも好評を得ている。スーパーリコーダーカルテットのメンバーとしても活躍中!

秋山 麻子 (あきやまあさこ) さんのプロフィール

相愛高校音楽科ピアノ専攻を経て相愛大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。1985年第2回ピアノ・オーディション奨励賞受賞。1995年室内楽ベルギー古楽サマーセミナーにて、室内楽をロベール・コーネン、今村泰典の各氏に師事。ピアノを柴田翠、徳末悦子、ギョルジョードの各氏に師事。チェンバロ、通奏低音を鈴木雅明、故小島芳子の各氏に師事。室内楽グループ「カメラータ・ルスティカ」を組織。ジョイントによるリサイタルを第2回まで終了。現在はソロ活動の他に、アンサンブル、合唱伴奏者、チェンバリスト、通奏低音奏者として活動している。

スーパーリコーダーカルテット in 斜里 北海道
北海道斜里郡斜里町本町4番地 斜里町公民館ゆめホール知床
12月19日(土)14時開演 13時30分会場
ゆめホール知床 文化ホール